岡崎市制100周年記念事業
岡崎まちものがたり

安藤川湛水（たんすい）防除事業碑

安藤湛水防除事業の目的は、以下のようである。安藤川は、近年流域内の開発などに伴い、流出量の増大と河床の堆砂による水位の上昇をきたし、農用地などに甚大な湛水被害を及ぼしている。このため、湛水（たんすい）防除事業により排水機および送水路などを新設し、湛水量を矢作川に直接排水して、これらの被害を防止するとともに、営農並びに民心の安定、地域産業の振興を図った。1975（昭和50）年に着手し、1986（昭和61）年に完工した。碑は2つあり1つは表面を当時の愛知県知事鈴木礼治氏が書いたものであり、もう一つは、事業の概要を説明したものである。

・安藤川湛水（たんすい）防除事業碑1（表面）

洗不過圓
愛知県知事　鈴木礼治書

・安藤川湛水（たんすい）防除事業碑1（裏面）

事業の目的

安藤川は近年流域内開発等に伴い流出量の増大と河床の堆砂による水位の上昇を来し、農用地等に甚大な湛水被害を及ぼしている。

このため湛水防除事業により排水機及び送水路等を新設し、湛水量を矢作川に直接排水して、これらの被害を防止するとともに、営農並びに民心の安定、地域産業の振興を図る。

事業の概要

名称　　県営湛水防除事業　安藤川地区
事業主体　愛知県
事業費　二十四億二百万円
事業期間　着手　昭和五十年度
　　完了　昭和六十一年度
事業内容　受益面積　490.0ha
　　流域面積　1459.7ha
　　計画排水量　11㎥/s
　　主ポンプ　台数：3台、口径：1,350㎜　型式：立軸斜流、全揚程：8.50m
　　実揚程：7.98m、排水量：3.67㎥/s台
　　原動機　台数：3台、馬力：640馬力、型式：ディーゼルエンジン
　　合歓木送水路　構造：FRPM管　直径2,600㎜、延長：1,346m
　　合歓木排水路　構造：組立水路、延長：308m
　　矢作川高落排水樋管　構造：鉄筋コンクリートボックス、延長74m
昭和六十二年二月吉日

・安藤川湛水（たんすい）防除事業碑2（表面）

記

　安藤川排水土地改良区は昭和四十九年県営湛水防除事業を計画し、昭和五十年度事業として農林水産省より採択される。

　地元関係住民各位の、深いご理解とご協力に依り、昭和五十四年十一月八日起工式を行い本格的工事に着手す。爾来、順調に工事も進み、昭和六十一年度事業を以て、諸施設工事を完了し、昭和六十二年二月二十八日之が竣工の式典を挙げることが出来ました。

　各方面のご指導とご援助に対し感謝すると共に、多年に亘り事業推進に精進された役職員の名を裏面に刻し記念と致します。

昭和六十三年三月吉日

安藤川排水土地改良区

・安藤川湛水（たんすい）防除事業碑2（裏面）

安藤川排水土地改良区役職員名

昭和49年―52年度
理事長　　村田藤九郎
副理事長　杉山谷蔵、兵藤周市
常任理事　酒井　清、辻村三和治
理事　　稲垣　実、瀬戸正太郎、鈴木幸男、榊原礼三、村松孫市
理事　　畔柳金光、岩瀬義一、大久保清、松原松雄
統括監事　鈴木留吉、太田　馨
監事　　山崎純次、大河内弥三、太田　弘、柵木耕造
昭和53年―54年度
理事長　　兵藤周市
副理事長　杉山谷蔵
常任理事　岩瀬義一、辻村三和治
理事　　藤枝武雄、村松孫市、渡辺一夫、大河内清、榊原礼三
統括監事　村田藤九郎
監事　　磯村春夫、柵木耕造
昭和55年―62年度
理事長　　酒井　清
副理事長　辻村三和治、太田嘉典
常任理事　太田　弘、太田　馨、川澄長一、成瀬正雄
理事　　杉浦　崇、磯村春夫、柴田一夫、細井由之丞、瀬戸正太郎
理事　　畔柳隆雄、杉浦　明、犬塚光男
理事　　太田仙太郎、大久保清、太田新五郎、市川正市
理事　　石川秀雄、本田嘉美、山田　清
統括監事　鈴木留吉、野沢正雄
監事　　柵木耕造、伊藤重司、石川　学、細井恒久

職員
昭和49年―62年度
渡辺　毅、足立泰造、梶野新舞子、柴田マキ子

[湛水（たんすい）防除事業]

流域開発による流出量の増大や、地盤沈下等の立地条件の変化により、排水条件の悪化した地域を対象に、主に農作物の湛水被害を未然に防止するため、排水機、排水樋門、排水路などの新設、改修及び更新を行うもの。

安藤川湛水防除事業碑1
1987(昭和62)年2月建立
20150818

安藤川湛水防除事業碑1(裏面) 20150818

安藤川湛水防除事業碑2 1988(昭和63)年3月建立 20150818

安藤川湛水
防除事業碑
岡崎市
福桶町
下三ツ木町
新村町
刈谷紙器
歴史民俗資料室
六ツ美
西尾市
東浅井町
二軒屋町
中島東町
六ツ美南部小
中島西町
岡崎市
中島変電所
中島町
中島保
中島橋西
西尾市